

特別企画

クルマエビの陸上養殖に挑戦！

海のない群馬県榛東村で…

クルマエビの養殖に取り組んでいる、株式会社カトファーム 代表取締役 加藤徳明さんにお話を伺いました。しんとうワイナリーで地域おこし協力隊員として活動中の萩原璃来さんとは同級生で、二人で協力しながら事業を行っています。



加藤徳明さん

萩原璃来さん



養殖中のクルマエビ

榛東村でクルマエビの養殖を始めたきっかけは

高校生の頃から、友人と、群馬県で新鮮な海産物を育てたいと話していました。東京大学へ進学してからも、榛東村へ戻って何かをやりたいという思いは変わらず、クルマエビの養殖を始めました。

クルマエビの仕入れや出荷の状況は

クルマエビは、鹿兒島県から取り寄せていて、発泡スチロールに入った3万匹の稚エビを仕入れられます。実際に大きくなって出荷できるのは1万5千匹程度を見込んでいます。10cmくらいに成長したら出荷します。このくらいの大きさが一番おいしいです。現在は、レストランや旅館へ直販しています。

クルマエビの養殖で工夫したことは

クルマエビは繊細で、対策しないと99%が共食い死んでしまいます。光を入れない・エサを切らさない・水をきれいに保つなどの環境を整えることが大切です。従来の陸上養殖では水換えが必要でしたが、独自のろ過システムにより、水換えをせずにきれいな海水に保つことが可能になりました。

クルマエビの他に、どのような海産物を育てていますか

去年は海ぶどうを育てました。暖かい沖縄県の環境を再現しているので、沖縄で養殖できるものは榛東村でもできると考えています。今後はウニや牡蠣にも挑戦したいです。

将来の夢は

榛東村でクルマエビの養殖ができれば、他の水が少ない地域でも養殖が可能になると思います。クルマエビは外国でも知り知られていないので、ぜひ世界へ広めたいです。

村民へのメッセージは

榛東村の水はきれいでおいしく、その水を使っておいしいクルマエビを育てることができています。いつか、市場で買えるようになったら、みんなで食べて広めていただきたいです。

No. 114

2026年（令和8年）
5月14日発行

発行：榛東村議会（議長 善養寺孝）
編集：議会広報常任委員会
印刷：荒瀬印刷株式会社

総務産業建設常任委員会にて視察

2月13日、しんとうワイナリーとクルマエビの養殖場を視察しました。しんとうワイナリーでは、萩原さんから、各種ワインの特長や醸造工程などについて説明を受け、榛東村でワイン用ぶどうの栽培に挑戦する夢についてもお話しいただきました。クルマエビの養殖場では、多くの水槽があって、加藤さんのお話から、クルマエビの養殖に最も適した環境を見つけるために、試行錯誤を重ねている様子が伝わってきました。



しんとうワイナリー

訂正 第113号 19ページ
A 法令を遵守し：
A 法令遵守し：
A 法令遵守し：

TEL 0279(26)2748
FAX 0279(54)8225

〒370-3593 群馬県北群馬郡榛東村新井790-1

- 議会広報常任委員会
- 委員長 須田 仁美
 - 副委員長 新井佐智子
 - 委員 波多野佐和子
 - 委員 三俣 実
 - 委員 浅見 隆
 - 委員 宮崎 法文
 - 議長 善養寺 孝

今号の
表紙
閉園した南幼稚園でクルマエビの養殖

閉園した南幼稚園の園舎を活用してクルマエビの養殖に挑戦する加藤さん。桜吹雪の中、愛犬あぐりちゃんとハイ、ポーズ！榛東村に新たな特産品が生まれることを期待しています。これからの活躍がとても楽しみです。

114号の編集に当たり、村民の皆さまに中立で公平な情報をお届けできるよう、編集委員一同心がけています。より多くの皆さまに村政への関心を持っていただき、議会傍聴にお越しいただければ幸いです。（浅見 隆）

編集後記

榛東村議会 ホームページについて

議会の会期日程や結果について、決定次第議会のホームページに掲載しています。また、議会のしくみや議会用語などについても説明していますので、ぜひご覧ください。

榛東村議会

クリック



みなさん

“議会とつながる”多くのおみなさんの声でより良い議会に！

ご意見ご感想をお聞かせください。 E-mail : gikai@vill.shinto.gunma.jp
次回の定例会は、6月上旬予定です。傍聴をお待ちしています。

